（別添資料１）

事業所名　障害児（者）通所事業所ウイズワン（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日　令和７年　4　月　1　日

法人（事業所）理念		利用児（者）の権利を擁護し、個性、主体性、可能性を尊び、豊かな人生が送れるように支援する		
支援方針		在宅の重度の障害児を対象とし、療育と医療の専門スタッフが、利用児の障害に応じた日常生活支援、一人ひとりの主体性を活かし、生きがいにつながる療育を提供すると共に他の福祉サービスを含めて利用できるように、家庭や各関係機関と連携を図る		
営業時間		8 時　0 分から　17 時　0 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	健康チェック・全身状態や呼吸状態の観察をし、それぞれに対応を行うことで体調の安定を図る リラックスして過ごせるように、快適で心地よい環境づくりを提供する		
	運動・感覚	運動機能に応じたリハビリを行う 感覚に働きかける遊びや活動を提供し、成長や発達を促していく		
	認知・行動	集いや活動、食事や排せつ等を日課に沿って行うことで、生活のイメージを持ち見通しが作れるように支援していく 活動前の導入や声掛けを繰り返すことで、興味や関心が持てるように支援していく		
	言語 コミュニケーション	表情、動作、発生の仕方などを通し、共感し予想して代弁をすることで気持ちの成長を促す 物や様子などを目の前に提示し、言葉にして伝えることで、その意味とむすびつくように繰り返し伝えていく		
	人間関係 社会性	職員とふれあい、声掛けをしていくことで信頼関係が作れるように支援していく 他の利用児者と過ごすことで、意識しながら楽しく活動に参加できるようにしていく		
家族支援		保護者同士が子育ての喜びや悩みなど思いを共有できる場を作っていく	移行支援	家族への情報提供をする 相談員や他事業所との連携（情報交換・情報共有など）
地域支援・地域連携		地域との交流や関係機関と連携をとり、保護者の思いに寄り添いながら地域で安心して生活できるようにしていく	職員の質の向上	日々の支援後を振り返り、改善点や反省点を話し合う 各研修への参加 勉強会の実施
主な行事等		誕生日会、進級を祝う会、花見会、新緑の会、水遊び、ミニ運動会、お月見会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、新年会、節分祭、ひな祭り、卒業を祝う会等		